

板橋区教育委員会

請願第 2 号

板橋区内中学校における「歴史教科書」の採択に関する請願

提出者

住 所

氏 名





板橋区教育委員会

教育長 長沼 豊 殿

2024年 7月 23 日



板橋区内中学校における「歴史教科書」の採択に関する請願

新緑の候、貴教育委員会におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、板橋区内中学校に通学する私たち在地韓国人の子弟を含む地域の生徒たちへの学校教育の為に、誠心誠意ご尽力されていることに対し。心より敬意を表する次第です。

さて、私たちは、板橋区内中学校各校が、2025年度から使用する教科書の採択に関しまして、下記のように要望いたします次第です。貴教育委員会におかれましては、どうか趣旨をご高察賜り、善処のほどよろしくお願い申し上げます。

記

一．要望事項

板橋区内中学校各校が、2025年度から使用する教科書の採択に際し、望ましい歴史認識に基づいた「歴史教科書」を採択して下さいますよう、要望いたします。

二．趣 旨

私たち在地韓国人は、日本のアジア侵略、とりわけ我が国を植民地支配した結果、日本に居住するに至った当事者とその子孫であります。祖国解放後、在日本大韓

民国民団を結成し、今日までの活動の多くを日本の植民地による悲哀の克服と在日同胞の権益擁護運動に努めて来たと申し上げても過言ではありません。徴兵・徴用や強制連行による犠牲者、関東大震災の虐殺事件など、隠蔽された歴史的事実を明らかにする一方、創氏改名による日本名から本名の回復など、植民地時代の残滓の克服に努めてまいりました。そして、このような不幸な歴史を克服する上で、韓日・日韓の相互理解が何よりも重要であるという立場から市民レベルの友好親善活動に力を注いでまいりました。

本年2024年度は、公立中学校における教科書の全国一斉採択の年であり、私たちの子供が通う学校で、どのような「歴史教科書」が使用されるようになるのか大いに注目しているところです。しかしながら報道等の情報によると、検定を通過した一部の教科書には、かつての日本の植民地政策の反省や近隣諸国への配慮が見えないばかりか、侵略戦争を正当化したり、あるいは美化するような記述や構成、また、アジアを蔑視するような内容が随所に見受けられるようです。

もし、感受性豊かな中学生たちに、このような偏った歴史認識に基づいた「歴史教科書」が使用されたとしたら、不幸なことに在日韓国人には不要な劣等感を与え、日本の生徒たちには錯覚や偏見を植え付けてしまいかねないことを危惧いたします。

私たち保護者は、日本の教育現場において偏った歴史教育を押し付けることなく、過去の歴史から何を学び、何を考えなければならないのかを、考える教育のあり方とそのために相応しい教科書の選定を強く求めます。

私たちは、1965年の韓日条約時に、義務教育の権利が保障され、1991年の再協議時には、韓日外相「覚書」の中で、日本人と同様の教育機会を確保するために、就学案内を発給することが明記されるにいたりました。このように私たちの子供に日本の義務教育を受けさせる権利が保障されているという観点からも在日韓国人の存在と韓・日の歴史が歪曲されること無く書かれた「歴史教科書」が、採択・使用されますことを強く望みます。

三．終わりに

戦後最悪と言われた韓日関係は、一昨年11月の韓日首脳会談を皮切りに急速に関係が改善されております。また、昨年訪日韓国人は約700万人、訪韓日本人は約230万人にのぼる等、韓日国民の活発な交流も見られています。さらに来年は、韓日国交正常化60周年の年を迎えることから、政府のみならず、地方自治体

や民間交流を通じて築き上げられた韓日友好親善が更なる発展を遂げるための大きな節目の年になると考えます。

つきましては、本要望書の趣旨をご高察賜り、望ましい正しい歴史認識に基づいた「歴史教科書」を採択することを切に要望いたします。